

健康被害

食物アレルギー対策を図れ

食育や自然食品の啓発を



昭三 議員
しょうぞう
矢野 議員

問 ひもじい時代には、アレルギーと言う様なことは無かった。対策を問う。

答 大西町長

食物アレルギーは増加傾向にある。食生活改善推進員の取り組み等、健康づくりやバランスの良い食事など、子どもたちへの食育を始め自然食品の普及啓発に努めていく。

農業振興

生産性

向上を図れ

関係機関と

連携して

問 農業の生産性向上を図るため農業改良普及指導員資格者を採用するか問う。

答 大西町長

普及員を採用する予定はないが、普及活動は、高知県幡多農業振興センターとJ A高知はた、幡東営農センターの営農指導員との連携で現地検討会や個別農家指導の普及活動、農家の巡回を実施している。

現状では、農家から連絡があれば両センター職員が現地に出向いて対応している。

今後も、県の農業振興センターやJ Aとも協議しながら推進していく。

水産振興

沿岸漁業の

漁獲対策は

集魚効果を

実証調査中

問 投石等により沿岸漁業の振興を図るべきと考えるが町、県の漁獲対策を問う。

答 大西町長

投石等の集魚効果は、漁業者等では認識されているが、その集魚効果の学術的データが集計されていない。県は、財政的支援を打ち切っているので、漁業者5名によるGPSを使った航跡データ、漁業者からの日常の水揚げ報告によって、集魚効果の実証をしている。

道路整備

専用道と国道との 連絡道を

ねばり強く 要望する

問 自動車専用道と国道56号の連絡道、佐賀方面から佐賀北部へ、佐賀北部から佐賀への取り合わせが必要と考えるが、町の考えを問う。
また、56号小黒ノ川、荷稻、拳ノ川の改良要望を問う。

答 大西町長

国は、新たなインターチェンジの設置計画はないが、緊急車両および維持管理車両の出入り口は適切な設置場所を検討すること。
また、指摘の箇所は交通量の増大が予測されるうえ、線形不良個所が残っている。安全対策が必要であり今後も粘り強く要望活動を行いたい。



自然食品黒砂糖の折詰め作業